



# 平成18年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練について

## 栃木県総務部消防防災課

平成18年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練は、平成8年度から実施され、平成10年度にブロック構成県である1都9県の輪番制となり、今年度は栃木県で初めて実施されました。

栃木県宇都宮市付近を震源とするM7.3の直下型地震により、宇都宮市を中心に甚大な被害が生じたとの想定で行われました。

以下、訓練内容につきまして概要を紹介します。

**1. 実施日** 平成18年11月11日(土)、12日(日)

**2. 実施場所**

**総合訓練会場**：宇都宮市「栃木県総合運動公園」

**野営訓練会場**：宇都宮市「宇都宮競馬場跡地」

**3. 主催**

総務省消防庁、緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練栃木県実行委員会

**4. 参加協力機関(順不同)**

陸上自衛隊第12特科隊、陸上自衛隊北宇都宮駐屯地、栃木県警察本部、栃木県宇都宮南警察署、日本赤十字社栃木県支部、社団法人宇都宮市医師会、宇都宮市消防団

**5. 協賛**

財団法人栃木県消防協会、財団法人栃木県消防設備保安協会、社団法人栃木県危険物保安協会連合会、財団法人消防試験研究センター栃木県支部、宇都宮自衛消防協会、宇都宮危険物保安協会

**6. 協力**

財団法人栃木県民間福祉協会、済生会宇都宮病院

**7. 訓練参加機関(順不同)**

消防機関 200部隊(うち航空部隊9隊)721名、陸上自衛隊2隊(二輪隊)2名、栃木県警察本部 1隊(航空隊)5名、日赤栃木県支部 17名、宇都宮市医師会 3名、宇都宮市消防団3隊15名

**8. 実施内容**

**第1日目**：平成18年11月11日(土)

応援要請にもとづく参集訓練、調整本部運営訓練(図上訓練)、事前調整、給食支援訓練、野営訓練等

**第2日目**：平成18年11月12日(日)

災害情報収集・支援情報伝達訓練、緊急消防援助隊調整本部運営訓練、多重衝突事故・集団救急救出訓練、編隊飛行訓練、土砂災害救出訓練、NBC災害対応訓練、医療スタッフ・医療物資搬送訓練、倒壊家屋救出訓練、重度傷病者搬送訓練、中高層建物救出訓練、中高層建物火災消火訓練、延焼阻止線設定訓練、空中消火訓練、終了式

**9. 主な訓練種目の具体的内容**

**第1日目**：平成18年11月11日(土)

**参集訓練**

神奈川・山梨・長野・静岡県隊は東北自動車道の佐野SA、群馬・埼玉・千葉・東京都隊は壬生町総合運動公園、茨城県隊は道の駅「にのみや」へそれぞれ進出し、管轄消防本部の先導により訓練会場に参集しました。

**調整本部運営訓練(図上訓練)**

栃木県災害対策本部室において実施した調整本部運営訓練は、複数の被災市を想定し県災害対策本部及び県調整本部を

設置して行いました。県内広域消防応援要請、緊急消防援助隊の応援要請、進出拠点・活動拠点の決定、各部隊の被災市への配備、被害状況の拡大に伴う追加応援要請などについて、県受援計画にもとづき実施しました。

また、災害対策本部要員として自衛隊、警察も参加し、災害対策本部と調整本部との連絡調整についても検証を行いました。

**野営訓練**

1都9県の各都県隊が、宇都宮市の宇都宮競馬場跡地で野営訓練を実施し、同会場にて高部正男消防庁長官による激励巡視が行われました。

**第2日目**：平成18年11月12日(日)

**総合訓練**

総合訓練における調整本部運営訓練は、消防庁、東京消防庁、宇都宮市消防本部、鹿沼市消防本部、石橋地区消防組合消防本部、栃木県消防防災課の職員が会場内の調整本部にて、県内応援部隊・緊急消防援助隊の部隊配備の検討などを行いました。

災害情報収集・支援情報伝達訓練には、陸上自衛隊の二輪隊及び栃木県警察航空隊が参加し、各参加部隊と連携した災害情報収集活動を行いました。

多重衝突事故・集団救急救出訓練では、日本赤十字社栃木県支部が参加し、救急部隊との連携による、応急救護所の設営・負傷者のトリアージ活動などを行い、医療スタッフ・医療物資搬送訓練では、航空部隊との連携による応急救護所への医療スタッフ・物資の搬送などを行いました。



土砂災害救出訓練

また、NBC災害対応訓練、倒壊家屋救出訓練では宇都宮市医師会が参加し、救急部隊との連携による要救助者の観察や処置を行いました。

延焼阻止線設定訓練では、地元宇都宮市消防団も参加し、指揮支援隊長の指揮のもと、各都県隊と連携し、水利の確保など消火活動を行いました。

**10. 関東ブロック合同訓練を終えて**

本県におけるブロック合同訓練は今年度が初めてであり、手探り状態で始まった実行委員会でありましたが、作業部会や事務局はもちろんのこと、各関係機関の多大なるご理解・ご協力のもと、予定した訓練日程を、事故等もなく無事に終了することができました。

今回の合同訓練の実施は、今後の受援計画の見直しや本県における受援体制の強化を図る上で、大きな成果があったものと考えます。

最後に、緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練にあたり、多大なるご支援やご協力を賜りました各関係機関の皆様方に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。